

## 幼児を自転車に乗せるときにはヘルメットを

幼児の死亡原因のトップは疾病ではなく事故、なかでも交通事故です。子どもの人身事故では自動車よりも自転車乗用中のほうがその件数は多く、兵庫県内で年間218名の幼児が自転車乗用中に事故にあい、その半数は頭部に損傷を受けています(平成17年度、兵庫県警察調べ)。幼児の自転車事故の大半は、自転車の幼児用座席に乗っているときに発生しています。

自動車乗用中のチャイルドシート着用は、法制化によりかなり普及し、事故死を減少させています。平成18年度交通安全県民運動では、自転車の幼児用座席に乗せるときにヘルメットを着用させるようキャンペーンを行っていますが、ヘルメットを着用している幼児の姿をめったに見かけることがありません。ヘルメットを着用していると、たとえ転倒しても子どもの脳を守り、致命的な傷を負わずにすみますので、ぜひ着用させてください。

また、幼児を乗せたまま、自転車から決して離れないように気をつけて下さい。